

頑張って登ったよ～  
みんなでハイ、チーズ！



宝仏山の登頂を喜び登山客

# 爽快！登山で心地よく汗

## ■宝仏山登山道開き

町内の最高峰、宝仏山ほうぶつざん（標高1005m）の登山シーズン開幕を告げる登山道開き（ごうぎんすぎの子会主催）が、4月29日、登山道入口の町歴史民俗資料館で開かれました。

雲一つない晴天に恵まれた登山道開きでは、この日を待ちに待った町内外の登山愛好家ら約50人が参加。山の安全を祈願する神事のほか、町内で活動している合唱グループ「合唱団おしどりたち」の



恒例となっている大山賛歌の合唱

皆さんがリードし、参加者全員で大山賛歌を合唱しました。

会場では、鳥取県西部総合事務所日野振興センターと黒坂警察署が、自然環境を守る登山のマナーを啓発したほか、資料館友の会によるコーヒーやお茶の無料サービス、セルプひのによるバザーも行われ、登山客らは一年ぶりの再会を喜んでいました。

登山の前に、主催する「ごうぎんすぎの子会」の稲田耕会長（根雨）は「今シーズンの宝仏山登山の安全を願っています。今日は気温が上がる予報。熱中症に気をつけて楽しんでほしい」とあいさつ。同会は、4月16日、積雪で倒れた木を取り除いたり、生い茂った草を刈るなど、登山道を整備して登山客を迎えました。

また、地元を代表して景山町長が「宝仏山登山は年々盛んになり、遠方からもたくさんの方々にお願いしたいと思っています。山頂からの景色は素晴らしい。奥日野の緑



## 宝仏山登山道開き



アケビ

皆さんがよくご存じの植物で、秋には実をつけます。つるには黄緑色の楕円の葉がたくさん茂り、薄い紫色の小さな花がいくつも咲いていました。



イカリソウ

花の形が船の“いかり”に似ています。紫色の小さな花が、登山道のあちこちで見られました。



ナガバモミジイチゴ

秋には、黄色い実をつけます。登山道にかわいい白い花が咲いていました。

自然豊かで、手つかずの景観が楽しめる登山道。新緑の季節を迎え、美しい緑やかわいらしい草花を見ることができまます。その一部を紹介いたします。  
(協力：日野振興センター自然保護監視員 番原昌子さん)

## 豊かな自然あふれる登山道

### 注 自然公園で野生動植物を採ってはいけません

自然公園などで野生動植物を採ると、場合によって違法となり、罰則があります。とっていいのは写真だけです。

また、山の植物を踏み荒らさないようにしましょう。



ひと足、ひと足、足場を確認しながら歩く

豊かな景色を楽しんでください」と歓迎しました。  
新緑の季節を迎えた宝仏山。鮮やかな緑、色とりどりの草花が目を楽しませます。登山道は、スギやヒノキなどが植林された人工林の静けさ、ブナなど多くの種類の木が見られる雑木林など、自然豊かで、手つかずの景観が楽しめると好評。山頂では、大山や美保湾などが一望できます。  
登り切った登山客らは、山頂から見える絶景に、足を止めて笑顔を見せ、時折吹き抜ける風に「良い気持ち」と、目を閉じてにっこりほほ笑み、思い思いの場所でお弁当を広げ、家族や友人と楽しく時間を過ごしました。  
また当日は、町歴史民俗資料館



大自然の中で食べるご飯は、格別の味

が特別開館され、下山した登山客は、懐かしい民具を見学し、子どもたちは、竹馬など昔のおもちゃで遊びました。